



(株)知床らうすリンクル 事業紹介



株式会社 知床らうすリンクル

【創設】

2013年7月25日

【事業内容】

知床羅臼の魚食文化や自然に触れるツアーの実施、地域活性化に関わる企画及び取り組み

【事業目的】

知床羅臼の産業および自然ガイドを実施し、地域生産物やそれを育てる自然環境、共生する人の暮らし・地域文化や歴史の高い価値を広く伝え、地域活性化・自然環境保全に貢献することを目的とする。

従業員 1 名 (2015年 3月時点)

代表取締役 後藤菜生子 (ごとうなおこ)

埼玉県上尾市出身。羅臼町在住8年目。

東京環境工科専門学校を卒業後、2008年より環境省羅臼自然保護官事務所でアクティブレンジャーとして勤務。知床の国立公園の管理業務に携わる。

2013年ガイド会社(株)知床らうすリンクルを設立。自然はもちろん、市場競りなどの産業にも注目したガイド活動を展開。町の魅力を引き出し、新たな羅臼の資源の見せ方や可能性を発信・模索中。



“Lincle”って?? その想いとは??

「Link(つながる)」+「Cycle(循環・環)」=「Lincle」

知床羅臼の

山・海・川の生きものたちの「命のつながり」

自然と共に生きる「自然と人のつながり」

地域の人や訪れる人など「人と人のつながり」

つながりが環となり、循環する仕組みを大切にし、

創り出せる会社でありたい。



産業ガイド



市場競り見学



羅臼昆布加工体験



秋サケ荷揚げ見学



ウニ割り体験



開きホッケ手作り体験₂



自然ガイド



羅臼湖トレッキング



リバーウォーク



ホエールクルーズ & 原生林ウォーク



流氷 & バードクルーズ





地域文化・歴史に触れるエコツアー



知床岬赤岩地区羅臼昆布エコツアー



2014年10月26日(日) 8

往時の活気 刻む番屋

羅臼昆布 歴史たどる赤岩ツアー

70年代は56軒が林立

どごとと

一家で移り盆踊りも 記憶 5年 葛川さん

行くならガイドを

生活 知床の自然と共に

最古の番屋所有者 長谷川さん

2014年10月26日(日) 8





地域活性化を目指して

「羅臼町活性化ワーキンググループ」結成



平成26年4月、「羅臼の素晴らしさをひとりでも多くの人に伝えたい」「町の活性化のために、故郷羅臼をなんとか元気にしたい」そんな羅臼の将来を考える若者が集まり、「羅臼町活性化ワーキンググループ」を立ち上げました。

商店経営、加工品製造販売業、観光業、団体職員、漁協職員、役場職員など所属の垣根を超え同じベクトルをもったメンバーで構成されています。



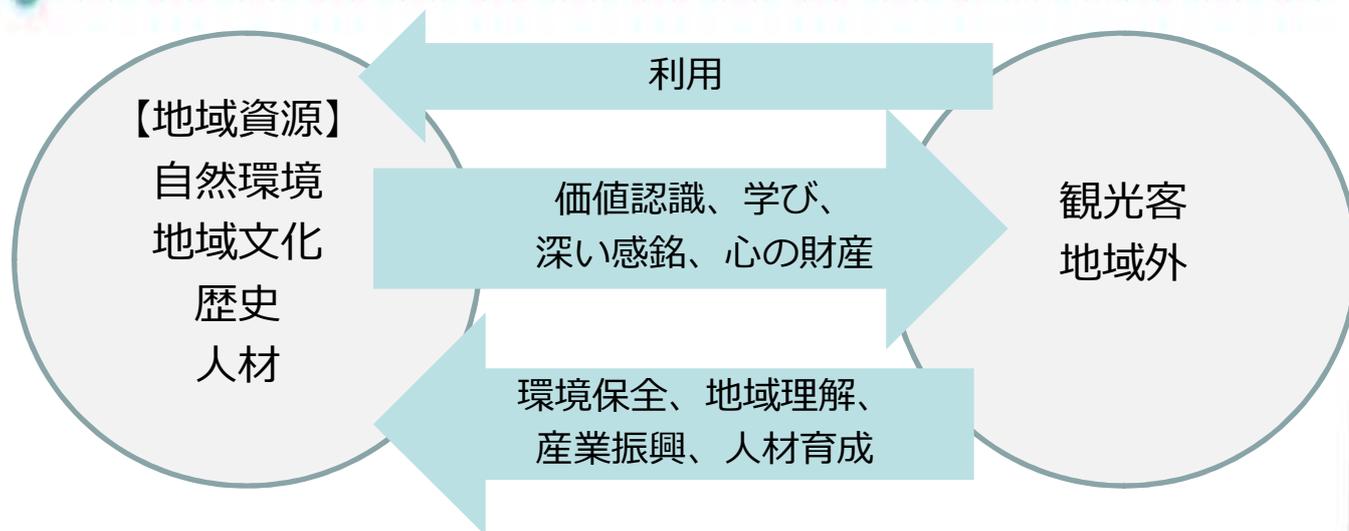
地域活性化イベント

「しれとこ羅臼こんぶフェスタ」開催

羅臼昆布にスポットをあてたイベントをとおして羅臼昆布のPRと消費拡大につなげることを目的とし開催。羅臼昆布特有の作業工程を元漁師の方や昆布漁に携わっていた浜の母ちゃんの手ほどきを受けて体験することができるコーナーや、昆布料理や地場産品を使用した料理などが楽しめる飲食コーナーなど、「みて・ふれて・たべて」羅臼昆布を知るイベント。漁業者の思いや苦労なども含め、本当の意味での羅臼昆布の素晴らしさを伝えられるイベントとなりました。



目指したい産業ツアーに関わる地域づくり



そのためには…

- 地域の主体性
- 自律的であること
- 持続的であること
- 共有・協働・連携・ネットワークがとれていること
- 郷土愛を育てる地域・教育
- 人材育成
- 行政との連携

今後も各関係者及び関係機関との協力を得ながら、より地域に密着したツアー作り、地域活性化につながる事業展開を目指していきたい。

新たな地域価値創造・人づくりに必要なこと

○地域資源の掘り起こし

たとえば…『鮭』

【いままで】焼鮭、イクラ等飲食や土産物での提供

【これから】荷揚げ見学、加工体験（漁業活動周知、食育など）、飲食…鮭定食×都心部女性ターゲットメニューの開発・提供
美肌・美髪・美腸効果PR（抗酸化作用アスタキサンチンなど）、上記ターゲットを意識したツアーの開発

新たな資源発掘には

- ターゲット設定…顧客は誰なのか
- コンテンツ設計…顧客は何を求めているのか
- 発想の転換
- 仮説＋検証だて＝新商品産出

○地域連携の強化

- ・観光と産業の相互理解、協力
- ・行政、経済団体、生産者組織等の連携
- ・官民一体となった地域の売り込み
- ・新たな視点と付加価値
- ・適切な情報提供

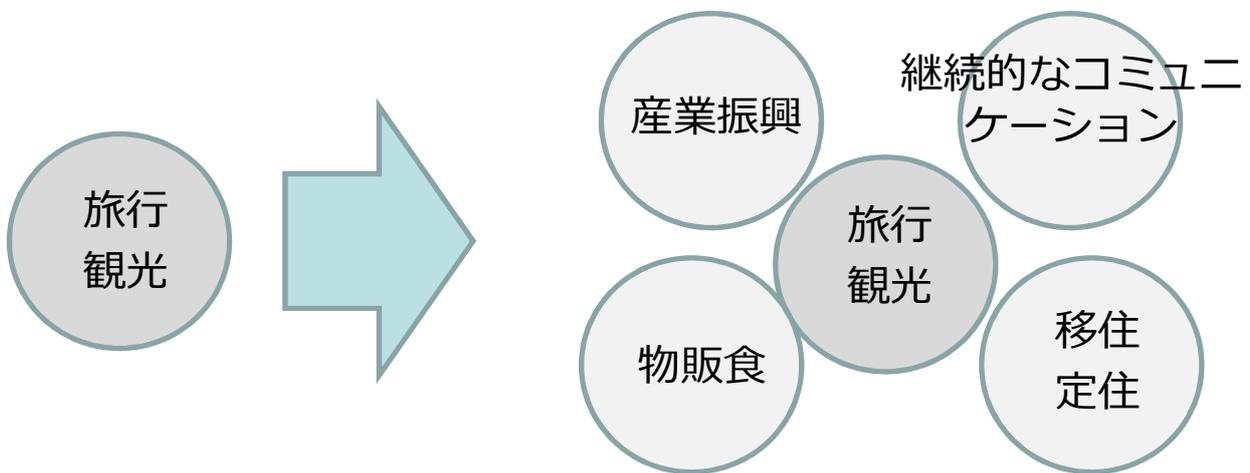


目指したい地域づくりと、行政への期待

観光といった一回性のビジネスモデル単独では、地域の持続的な成長を実現することは難しい。

しかし、その周辺領域も組み込むことで、より大きな事業機会をつなげることができる。

それは、地域活性化のみならず、地域の構造変化にもつなげることができる。



○産業・観光振興への支援

地域雇用創出のための新たな方策

インバウンド受入れにかかわる整備

起業・移住意欲のある若年層への支援 など

○情報発信・メディア有効利用

生活者を積極的にまきこんでいくために、発信方法に工夫必要あり。

世の中ゴト（マスメディア）



仲間ゴト・自分ゴト（ソーシャルメディア）